

# 現成の時間軸における習慣

(Actual Becoming Timeline Habits - ABTH)

緩和ケアにおける意味と尊厳を育むための  
スピリチュアルケア・フレームワーク

2026/2/8 SUN. 15:00 ~ 17:00

末期疾患における時間感覚の断絶、主体性の喪失、意味の崩壊といった実存的危機に対し、本発表は非宗教的なスピリチュアルケアのためのABTHフレームワークを提唱する。その4つの哲学的支柱—現象学（現実）、実存主義（生成）、ハイデガーの時間性（時間軸）、ストア主義（習慣）—は、実践的介入のための厳密な基盤を提供する。これらの介入は過去（物語的和解）、現在（ラディカルな現前性）、未来（レガシーによる超越）に焦点を当て、一貫した人生の物語を再構築する。

ケーススタディを通して、本フレームワークが苦悩を軽減し尊厳を回復する様を例証し、最終的に「善き死」を受動的な受容ではなく、意味、主体性、そして関係性の遺産の能動的な完成として再定義する。

## 発表者

オレーヤージュ・シルヴィア・マリア, PhD

北海道医療大学

応用倫理・応用哲学研究教育センター共同研究員

## コメンテーター

佐藤 恵子

京都大学大学院医学研究科 特任准教授

## 司会

藏田 伸雄

創価大学文学研究科教授

応用倫理・応用哲学研究教育センター共同研究員

言語：日本語

## オンライン開催

参加には事前登録が必要です。  
ご希望の方はORコードもしくはURLからお申込みください。  
（申込締切：2/5（木）正午）



お問い合わせ

北海道大学大学院文学研究院

応用倫理・応用哲学研究教育センター

TEL:011-706-4088 | caep@let.hokudai.ac.jp

<https://forms.gle/Mhcq2EJEGWyAuW9x8>